



メリーランド州へ教育特使として派遣されました！

令和8年3月20日(金)～3月27日(金)7泊8日で3年7組 林 勇樹さんがメリーランド州へ教育特使として派遣されました。この事業は校内選考で1名のみが推薦され、その後、県内から集まった候補者による書類選考・面接を経て、神奈川県代表として10名が選ばれる狭き門です。選ばれた高校生たちは神奈川県の友好交流地域であるメリーランド州を約1週間訪れます。訪問中は、州政府を表敬訪問し、知事からの親書をメリーランド州政府高官に手渡します。隣接するワシントンD. C. ではアメリカを代表する場所を訪れるほか、メリーランド州の高校に4日間ほど通い、現地の高校生と交流し、神奈川県の代表として様々な活動を行います。行程表は以下のとおりです。

【行程表】

3月20日(金)羽田空港出発、ダレス空港着、コロンビアへ

3月21日(土)ホストファミリーと市内視察

3月22日(日)ワシントンD. C. 市内視察、スミソニアン博物館等

3月23日(月)～25日(水)高校にて授業参加、プレゼンテーション、ディスカッション、日本文化紹介等

3月26日(木)ダレス空港出発、羽田空港へ

3月27日(金)羽田空港着

【応募の際に準備したこと】

本事業の選考は、課題論文・志望理由書の書類審査(1次選考)と、英語・日本語による面接(2次選考)の2段階から成っています。1次選考は提出締切期限がタイトで、夜なべして提出書類を作成したように記憶しています。自分は「AIの活用による教員研修モデル」というテーマで論文を作成しましたが、他の派遣生徒と話してみるとSDGsに関連するテーマで論文を書いていた人も多かったようでした。2次選考では、休日・放課後に何度も先生方と面接の練習をしました。面接は本当に練習あるのみだと思います。1次・2次どちらの選考でも、先生方のご意見を都度いただけたことがありがたかったです。本当に親身にご指導いただけるので、ぜひ積極的に先生方に相談することをおすすめします。



【参加して学んだこと】



本当に多くのことを学ぶことができましたが、成果報告でも軽く触れたように、とりわけ印象に残っていることに「包容力」と「コミュニケーション」に関することがあります。ダレス空港に着いたとき、見知らぬドライバーに話しかけられたこと。現地高校に訪問したとき、すれ違うたび日本語であいさつされたこと。疑問や気になることは、些細なことでも言葉にして伝えること。アメリカの人々に自然と根付いているように思われる、互いを受け入れ、積極的に関わろうとするその姿勢は、おそらく、さまざまな文化を持った人がともに生きる多文化・多民族共生社会ならではのことに思いました。そうした姿勢は、これからの日本にも求められていることのように感じます。